

日本放射線腫瘍学会第 38 回学術大会
JASTRO2025
総 合 趣 意 書

施設展示

寄附金

2025 年 11 月 27 日(木)～11 月 29 日(土)

東京国際フォーラム

大 会 長 櫻井 英幸

(筑波大学医学医療系 放射線腫瘍学 教授)

日本放射線腫瘍学会第 38 回学術大会

ごあいさつ

謹啓 時下、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

この度、日本放射線腫瘍学会第 38 回学術大会を 2025 年 11 月 27 日～29 日に東京にて開催させて頂くことになりました。

我々は基礎から臨床までの研究を推進し、その結果として得られたエビデンスを重視して日々の診療を行っています。現在の標準治療にも多くの課題があります。過去から現在までの臨床経験や治療成績を議論することは学術大会として大変大切なことですが、そこに終始するのではなく、本会はこれからの中長期的な戦略を見据えて、5 年後、10 年後、そして 100 年後、我々の担う医療がどのようなようになっていくのか、質的に豊かな未来のために我々医療者がどのような方向に進めばいいのか、一緒に考えてゆく会にしたいと思います。また、患者さんの幸福だけではなく、これからの変わりゆく社会の中で我々医療者、研究者、教育者、そして関連する企業の方々とともに何をしていけばいいのか、つまりがん診療、その中の放射線治療に尽力するコミュニティ全体のやりがいと成功と幸福のための課題と解決の糸口を考える、そんな大きな視点で皆さんと議論をしていきたいと考えています。

今回の学術大会のテーマは「imagine the future-がん診療の未来を話そう-」といたしました。どのような学術大会にしたいのかを私自身イメージした時に、次世代を担う学生や若手医療者・研究者が、将来を見据えてフランクに討論をしている姿が目に見え、今回のテーマとしました。「imagine the future」は、実は筑波大学が掲げる理念です。最も開かれた未来志向の大学を目指し、その言葉には「改革」「挑戦」の思いが込められています。

がん医療、そして放射線治療の発展のためには、今後も多くの技術開発が必要です。最近では、X線を用いた治療はもとより、小線源治療、粒子線治療、BNCT、また超音波やレーザー等を応用した新たな治療法が臨床応用されてきております。技術的にも、画像誘導、adaptive、定位照射、強度変調放射線治療、フラッシュ等の有効で安全な利用、併用治療としての薬剤の開発や免疫療法、温熱療法（ハイパーサーミア）の応用等、多くの機器や薬剤関連企業との協力が不可欠です。

つきましては、諸費ご多端の折、誠に恐縮ではございますが、本学会の主旨にご賛同頂き、合わせて諸般の事情をおくみ取り頂き、是非とも格別のご配慮、ご高配を賜りたくお願い申し上げます。本来ならば参上し、拝眉の上お願いすべきことではございますが、本書面を借りてご高配とご援助の程、お願い申し上げます。

末筆になりましたが、貴社のますますのご繁栄を心よりお祈り申し上げます。

謹白

2025 年 2 月吉日

日本放射線腫瘍学会第 38 回学術大会
大会長 櫻井 英幸
(筑波大学医学医療系 放射線腫瘍学 教授)



1. 開催概要

1. 会議正式名称： 日本放射線腫瘍学会第 38 回学術大会
2. メインテーマ： IMAGINE THE FUTURE
がん診療の未来を話そう
3. 大会長： 櫻井 英幸（筑波大学医学医療系 放射線腫瘍学 教授）
4. 会期： 2025 年 11 月 27 日(木)～11 月 29 日(土)
5. 会場： 東京国際フォーラム
〒220-0012 100-0005 東京都千代田区丸の内3丁目5-1
TEL:03-5221-9000
6. 予定参加者数： 約 2,500 名
7. 会議の性格と目的：
日本放射線腫瘍学会は、放射線腫瘍学およびこれに関連ある研究の連絡提携と促進をはかることにより学術及び科学技術の振興、発展に寄与することを目的として、1988 年 2 月に設立され、2012 年度に設立 25 周年を迎えました。2012 年 2 月には公益性が高い法人として公益社団法人に認定され、現在、4 つの部会（小線源治療部会、生物部会、高精度放射線外部照射部会、粒子線治療部会）と 22 の各種委員会が活動し、専門医制度、国際学術誌を有し、会員総数 4,000 名を超える学会に発展しています。
8. 大会事務局：
会長 櫻井 英幸
筑波大学医学医療系 放射線腫瘍学
〒305-8577 茨城県つくば市天王台 1-1-1
TEL:029-853-7100(代)
9. 運営事務局(問合せ先)：
株式会社コングレ
〒103-8276 東京都中央区日本橋 3-10-5 オンワードパークビルディング
E-mail: jastro2025@congre.co.jp
TEL:03-3510-3701(代)

2. 申込要綱

申込み方法・申込み先

本学会ウェブサイトの「企業協賛のご案内」ページよりお申込ください。

本学会ウェブサイト URL : <http://www.congre.co.jp/jastro2025/sponser/>

【お問い合わせ先】

日本放射線腫瘍学会第 38 回学術大会 運営事務局

株式会社コングレ内

〒103-8276 東京都中央区日本橋 3-10-5 オンワードパークビルディング

jastro2025@congre.co.jp

キャンセルポリシー

申込後、止むを得ない事情により取り消しをされる場合は、以下の通り規定の取り消し手数料を申し受けますので、予めご了承ください。

- | | |
|-----------------------------|-------------|
| ・申込後 ～ 2025 年 3 月 31 日(月)まで | : 共催費の 30% |
| ・2025 年 4 月 1 日(火)以降 | : 共催費の 100% |

天災等、不可抗力による延期・中止について

天災(地震、津波、火災、その他、またそれに伴う交通機関の遅延や停止、付随する災害など)や新感染症の流行やその他不可抗力の原因により止むを得ず開催を延期または中止することがあります。中止となる場合も、費用のお取り扱いについては、上記のキャンセルポリシーが適用されますので、予めご了承ください。なお、延期・中止に伴い、共催費以外でかかった企業様側の経費に関しては、主催者は補償の責を負いません。

開催形態の変更の可能性について

新型コロナウイルス感染症の拡大等昨今の社会情勢を鑑み、完全 WEB 開催等開催形態が変更となる可能性がございます。その場合、主催者決定の変更後の開催形態にて協賛していただきます。貴社の都合で辞退される場合は、上記のキャンセルポリシーが適用されますので、予めご了承ください。

※想定される開催形態変更後の開催形態

- (1) 現地の会場規模を縮小した開催
- (2) 現地開催は中止し、Zoom 等ウェブ会議システムによるライブ配信やオンデマンド方式の動画配信

協賛金のお振込み先

申込み締切後、請求書を発行させていただきます。

請求書の発行日より1ヶ月以内に指定口座へのお振込みをお願いいたします。

なお、振込手数料は貴社にてご負担くださいますようお願いいたします。

銀行名：常陽銀行(ジョウヨウギンコウ)

支店名：研究学園都市支店(ケンキュウガクエントシシテン)(店番 104)

口座番号：普通 4083813

口座名義：日本放射線腫瘍学会第38回学術大会会長 櫻井 英幸

ニホンホウシャセンシユウガツカイダイサンジユウハチカイガクジユツタイカイ カイチヨウ サクライ ヒデユキ

『企業活動と医療機関等の関係の透明性ガイドライン』について

本学術大会は、日本製薬工業協会の「企業活動と医療機関等の関係の透明性ガイドライン」および一般社団法人日本医療機器産業連合会の「医療機器業界における医療機関等との透明性ガイドライン」に基づき、日本放射線腫瘍学会第38回学術大会への学会等共催費等について各社が公表することに同意いたします。

2025年2月吉日

日本放射線腫瘍学会第38回学術大会

大会長 櫻井 英幸

(筑波大学医学医療系 放射線腫瘍学 教授)

3. 施設展示募集要項

1. 会 期： 2025年11月27日(木)、28日(金)、29日(土)

2. 会 場： 東京国際フォーラム

3. 開催時間： 11月27日(木) 9:00～18:00(予定)

11月28日(金) 9:00～18:00(予定)

11月29日(土) 9:00～15:00(予定)

※搬入は、11月26日(水)を予定しております。

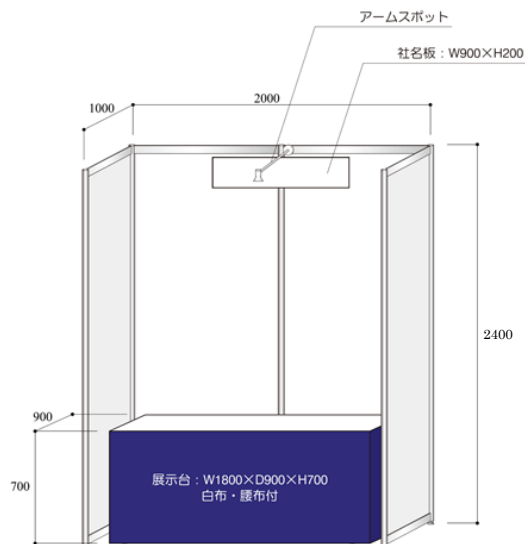
※上記時間は当日のプログラムによって、変更することもありますので
あらかじめご了承ください。

4. 出 展 料：

会場	種類	出展料(税込)
展示会場 (予定)	施設展示	150,000 円(小間数に関わらず一律) ※1 施設につき最大 2 小間まで申込可

5. 小間仕様：

種類	単位	サイズ
施設展示	1 小間	W2,000 mm×D900 mm×H2,400 mm



＜施設展示仕様＞

バックパネル： W2,000×H2,400

社名板： W900×H200

展示台(白布掛け)： W1,800×D900×H700

照明： スポットライト×1 灯

※バックパネルには、画鋏やネジ式フック使用できません。

パネル等は S 型フック・チェーンでの吊り下げ、または
両面テープでの貼り付けとなります。

※展示台前スペース： W2,000×D1,000

※仕様は変更になる可能性があります。

6. 電 源:コンセント 100v 単相、200v 単相、三相の使用等をご希望の場合の費用は出展者の負担となります。

※電気使用料金はすべて出展者の負担となります。

※電源の使用につきましては後日「出展マニュアル」にてお申し込みいただけます。

7. 注意事項:

- 1) 小間の割り当て:出展申込締切後、出展物の種類・形状・重量・小間数等を考慮の上主催者にて決定いたします。出展者説明会は行いません。
- 2) 出品物の管理:出展物の管理は出展者が責任を持つものとし、展示期間中の出展物盗難・紛失・火災・損傷等不可抗力による出展物の損害に対して、補償等の責任は一切負いませんので、ご了承ください。
- 3) 展示会の中止について:災害・天変地異等の不可抗力により、展示会の全日程または一部を中止する場合があります。この場合、主催者は出展者に対して、開催中止となった部分の割合(一部中止の場合)及び残りの開催日数等を考慮して、主催者が相当と認める額を出展者に払い戻しますが、それ以外の責任は、一切負いません。
- 4) 搬入・搬出について:小間割(レイアウト)、搬入・搬出スケジュール等詳細は「出展要項」にて後日改めてご案内いたします(2025年9月下旬送付予定)。
- 5) 未承認医療用具の展示:運営事務局にお問い合わせください。

8. 申込締切日:2025年7月31日(木)

9. 申込方法: 本学会ウェブサイトの「企業協賛のご案内」ページよりお申込ください。

本学会ウェブサイトURL :<http://www.congre.co.jp/jastro2025/sponser/>

企業協賛のご案内

本学術大会では、共催セミナー、企業展示・書籍展示、各種広告の協賛を募集しています。
協賛募集要項(PDF)を希望される場合は、送付先メールアドレスを記載の上、
運営事務局 (jastro2025@congre.co.jp) までメールをお送りください。

募集項目	募集締切日(予定)	申込先
共催セミナー	2025年4月30日(水)	共催セミナー 申込
企業展示・施設展示・書籍展示	2025年7月31日(木)	企業展示・施設展示・書籍展示 申込



☐ 施設展示
(基礎小間のみ)

小間

出展料金: 0 小間 × 150,000 円 = 0 円

4. 寄附金 募集要項

1. 募金の名称： 日本放射線腫瘍学会第 38 回学術大会
2. 募金目標額： 2,000,000 円
3. 募金対象先： 医療関連業界及び理化学研究関連業界
4. 募 金 期 間： 2024 年 12 月 16 日～2025 年 11 月 26 日
5. 寄付金募集責任者： 日本放射線腫瘍学会第 38 回学術大会
大会長 櫻井 英幸（筑波大学医学医療系 放射線腫瘍学 教授）
6. 寄付金の用途： 2025 年 11 月 27 日(木)～11 月 29 日(土)の 3 日間開催される
日本放射線腫瘍学会第 38 回学術大会の開催、並びに関連事業の準備、
及び運営を行うための費用と致します。
7. 寄付を必要とする理由：
日本放射線腫瘍学会第 38 回学術大会の開催にあたり、日本放射線腫瘍学
会より 300 万円の補助金を受け、また参加費として約 3,800 万円の収入を見
込んでおります。しかし、シンポジストおよび特別講演講師等の招聘費、会場
費・人件費の高騰など、開催準備・運営に関わる諸経費は、見込み収入を上
回る額が概算されます。このため、開催準備・運営資金の調達を目的とした寄
附が必要とされます。
8. 寄付金振込先：
銀 行 名：常陽銀行(ジョウヨウギンコウ)
支 店 名：研究学園都市支店(ケンキュウガクエントシシテン)(店番 104)
口座番号：普通 462472
口座名義：日本放射線腫瘍学会第 38 回学術大会会長 櫻井 英幸
ニホンホウシヤセンシユウガツカイタイサンジユウハチカイガクジユツタイカイ カイチヨウ サクライ ヒデユキ
9. 申込方法：「申込要綱」をご参照ください。